

News Release

2022年12月2日
株式会社ジェイコムウエスト 大阪局
サラヤ株式会社

— ひとにも地域にもやさしいサステナブルな食の提供 —
J:COM 大阪×サラヤ
地産地消に貢献するコラボ健康弁当を販売



＜販売イメージ＞



＜お弁当イメージ＞

株式会社ジェイコムウエスト 大阪局(J:COM 大阪、所在地:大阪府大阪市、局長:成島 研一)とサラヤ株式会社(サラヤ、所在地:大阪府大阪市、代表取締役社長:更家 悠介)は、食による地域貢献を目的に、2022年12月15日(木)よりJ:COM 大阪のサービス提供エリアで収穫するなにわ伝統野菜を使用し、食材の廃棄ロスに配慮した「J:COM 大阪×サラヤ コラボ健康弁当」の販売を開始します。

J:COM 大阪を運営するJ:COMグループは、SDGs関連番組の放送・地域イベントの実施などを通してSDGs達成への行動を啓発するとともに、自らもSDGsの17の課題解決に向けた取り組みを進めています。サラヤは世界の衛生・環境・健康への貢献をめざし、完全子会社である株式会社cotof(cotof、所在地:大阪府大阪市、代表取締役社長:脇本 邦裕)とともに、地域共創の一環として安全で安心な食を提案する事業を行っています。両社はともに地域に根差しSDGsを推進する企業として、食品ロス削減と地産地消に貢献するお弁当の販売に取り組めます。

今回販売するお弁当は、J:COMのコミュニティチャンネル「J:COMチャンネル」(地デジ11ch)で放送中の番組『かもん! おおさかもん!!』で紹介する「大阪産(もん)※」のなかから、J:COM 大阪のサービスエリア内の農家が生産する田辺大根や金時人参などの「なにわ伝統野菜」を使用しています。「地産地消」に貢献し、地元産業の活性化を目指します。※大阪府で生産収穫された農林水産物とその加工品

また、サラヤの液体急速凍結機ラピッドフリーザーを活用した最新の冷凍技術により、鮮度を保持し廃棄ロスを減少した宮津産の旬のぶりのりも使用します。通常の調理では廃棄されやすい皮や葉も丸ごと食べられるよう加工し、食品ロスにも配慮しています。

本取り組みを受けて、J:COM 大阪は、大阪府の「おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度」に登録申請しています(2022年12月7日認証予定)。パートナーシップ事業者として、食品ロス削減に積極的に取り組むとともに、大阪府とも連携し効果的な啓発を実施してまいります。

初回はスタッフ向け販売として、J:COM 大阪の敷地内にオープンカフェを開き、サラヤのキッチンカーから出来立てを提供します。今後は、地域の皆さまにも気軽に手に取っていただける機会の提供を予定しています。

※今後の販売予定はHPにてお知らせいたします。<https://c.myjcom.jp/town/osaka/info/BPO.html>

J:COM 大阪とサラヤは、今後も協力し地域に根差した社会貢献活動に取り組んでまいります。

参考

サラヤの持つ衛生ノウハウ+「凍結」ソリューションを組み合わせた新しい食事業 cotof

cotofは「**Communication tomorrow's food**(明日の食材を分かち合う)」の略称で、健康・栄養・フードロスや環境問題、新冷凍技術を活かした保存方法など、明日につながる食の“コト”を何気なく“ふ”と考え続けることで食の未来を創っていくという意味です。今までの食の当たり前のカタチを持続可能な形態に進化するためのソリューションを提供します。

【キープdeフレッシュ】

食品ロスや慢性的な人手不足などに加え、新型コロナウイルス感染症によって大きく変わる食業界が抱える問題に着目。とれたての鮮度や味わいをそのままに凍結して保存し、運用することで食の新たな価値を食卓へ提供します。衛生事業で培った独自の凍結技術を詰め込んだラピッドフリーザーを活用することで、旬の美味しい食材をそのまま1年通して販売ができ、流通にのらない規格外品を加工した冷凍食品を通販商品として展開。また、メニューのパーツ化をしてストックし、オーダーに応じて必要分だけを解凍するなど、フレキシブルさとともに、フードロス問題、作業時間の効率化、新たなビジネスチャネルへのチャレンジと様々な食の分野で活用が広がっています。

【cotof LAB】

日本各地の美味しい食材を凍結技術で収集し、新たな冷凍技術、冷凍食品、オリジナルメニューの考案・研究をおこなっています。さまざまな販売チャネルに合った、多くの方へより身近に提供できる食の提供のカタチを考え、取り組んでいます。

【cotof Kitchen car】

LABで独自に作られたオリジナルメニューを提供し、そのテーマと共に多くの人に知ってもらい、実際の声を集める事業マーケティングをおこなっています。健康をテーマとした1号、地方創生をテーマにした2号の2台を運営しています。

【cotof MARCHE】

LABで開発されたレシピを活用し、実店舗でのお惣菜、お弁当などの販売をおこないます。2023年1月には、サラヤ株式会社本社横の店舗がオープン予定です。

株式会社ジェイコムウエストについて

株式会社ジェイコムウエスト(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:櫻井 俊一)は、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県の関西地区2府2県で、ケーブルテレビ、高速インターネット接続、固定電話、電力、ガス、モバイル等を提供しているケーブルテレビ運営会社です。JCOM株式会社(J:COM)のグループ会社として、先進性のある、高品質な情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。

J:COMグループのSDGsへの取り組みについて <https://www.jcom.co.jp/corporate/csr/sdgs/>

J:COMは、SDGs達成のための取り組みを推進するため、国連が世界の報道機関に協力を呼びかける「SDGメディア・コンパクト」に加盟しています。メディア企業として、その必要性や社内外の取り組みを発信し、SDGsの認知向上や具体的な取り組みへの参画を呼び掛けています。

サラヤ株式会社について

サラヤ株式会社(本社:大阪市東住吉区、代表取締役社長:更家 悠介)は、ヤシノミシリーズ・アラウなどの家庭用及び業務用洗浄剤や、消毒剤、うがい薬等の衛生用品と薬液供給機器等の開発・製造・販売を行う化学・日用品メーカーです。「いのちをつなぐSARAYA」をスローガンに、1952年の創業当初より、天然素材を用いた“ひとと地球”にやさしい製品づくりに取り組み、みなさまの「衛生・環境・健康」に貢献する製品とサービスをお届けしています。